

長野県中期総合計画の組立て

はじめに

計画策定の趣旨	計画の性格	計画の期間
少子高齢化、人口減少、危機的な財政状況など、本県が直面している変化や課題に的確に対応し、選択と集中により、新たな時代にふさわしい長野県づくりを計画的、総合的に推進するため、その方向性や方策を明らかにする。	県政運営の基本となる総合計画 県が取り組んでいく必要のある主な施策と達成目標をわかりやすく示すことにより、県づくりの課題や方向性を県民と共有し、市町村等の理解と協力のもと、県民の参加による目標実現をめざす。	平成 20～24 年度 (5 か年間)

第1編 長野県を取り巻く時代の潮流

少子高齢化・人口減少の加速
長期的な人口減少と高齢化、中山間地域等の地域活力の低下など

グローバル化の進展
国家・地域間の交流の活発化、経済・産業面での競争激化、多文化共生社会の形成など

情報通信技術の発達
利便性・効率性の向上、情報格差・信頼性などの懸念など

安全・安心や環境に対する意識の高まり
医療、食等暮らしの安全・安心の確保、防災・減災、環境負荷の低減が課題など

価値観の多様化と子どもを育む力の低下
価値観・ライフスタイルの多様化、社会貢献意識の拡大、地域の支え合い意識の低下など

公共の担い手の多様化と役割の増大
公共の分野での多様な主体の活動の広がり、企業の社会的責任意識の定着など

地方分権の進展
地方分権改革の加速、高まる市町村の役割への期待など

国・地方を通じた厳しい財政状況
長期化する財政の危機的状況、行財政基盤強化の必要性など

第3編 これからの長野県づくりの方向

基本目標
(めざす姿を踏まえた基本目標)

めざす姿

**豊かな自然と
共に生きる
長野県**
自然と人の共生と調和、健全で豊かな自然の恵みを次代に継承する持続可能な社会を構築

**力強い産業が支える
活力あふれる
長野県**
回復が遅れる経済の再生をめざし、製造業・観光産業・農林業などの産業を活性化

**安全・安心な
暮らしをつくる
長野県**
保健・医療・福祉、減災対策など、県民が共に安全で安心して暮らせる社会を構築

**未来を切り拓く
人を育む
長野県**
次代を担い地域を担う子どもたちを育成、生涯を通じて学べる環境を創出

**市町村が主役の
人が輝き地域が輝く
長野県**
地域経営の主役である市町村との信頼と納得のパートナーシップを通じ、住む人と地域の活力を創出

「**活力と安心**」
「**人暮らし自然が輝く信州**」

第4編 挑戦プロジェクト ～ 第5編 施策の展開

5つの施策の柱と44の主要施策（127項目の達成目標）

- 1 自然と人が共生する豊かな環境づくり
・参加と連携で取り組む地球温暖化対策の推進
・未来へつなぐ森林づくり
・農山村における多面的機能の維持 など8施策
(達成目標:23項目)
- 2 地域を支える力強い産業づくり
・世界へ飛躍するものづくり産業の構築
・観光立県「長野」の再興
・地域が輝く元気な農業・農村の構築 など8施策
(達成目標:20項目)
- 3 いきいき暮らせる安全・安心な社会づくり
・健康長寿県の確立 ・安心で質の高い医療の確保
・安心して子どもを産み育てられる環境づくり
・地域防災体制の強化 など13施策
(達成目標:47項目)
- 4 明日を担い未来を拓く人づくり
・確かな学力と豊かな人間性・社会性を育む学校教育の充実
・生涯を通じた学びや育ちの環境づくり
・生活を彩る文化芸術の振興 など4施策
(達成目標:17項目)
- 5 交流が広がり活力あふれる地域づくり
・市町村が主役の地域経営の確立
・ボランティア・NPOが活躍できる環境づくり
・男女共同参画社会づくり など11施策
(達成目標:23項目)

挑戦プロジェクト（7つのテーマ）
将来を見据えた中・長期的な視点から魅力的な長野県を築いていくため、積極的に挑戦していくべき分野横断的なテーマ

- 一人当たり県民所得全国レベルへの挑戦
豊富な地域資源と潜在力を生かして、豊かさを実感できる地域経済を構築
- 市町村が主役の元気な県づくりへの挑戦
分権時代にふさわしい行財政基盤強化をめざす市町村を支援
- 健康長寿NO.1確立への挑戦
各世代の健康づくりなど全国に誇る健康長寿県の特色を将来にわたって継承する取組を推進
- 次代を担う多彩な人材育成県への挑戦
教育に熱心な歴史的・文化的風土を生かし、子どもたちの生きる力を育むなど、創造性ある多彩な人材を育成
- 出産・子育てにやさしい県への挑戦
地域・県民の連携で安心して出産・子育てできる環境を創出
- 地球温暖化対策先進県への挑戦
豊かな自然に恵まれた県として、持続可能な社会をめざし、温室効果ガス排出削減を率先して実践
- 減災による安全な県づくりへの挑戦
被害を最小限に抑える減災対策を着実に推進

達成目標の項目数・・・全体では127項目を設定(各柱の単純計130項目のうち3項目は再掲)

第2編 人口、経済の見通し（推計）

総人口、世帯数
総人口は今後長期にわたり減少
県内総生産、一人当たり県民所得
実質経済成長率は全国を下回る状況で推移
一人当たり県民所得は全国20位に低下(H16)
就業者数
人口減少を受け減少
第3次産業の割合が高まる見通し

基本的視点

(めざす姿の実現に向けて県と県民が共有する、県づくりの基本的な視点)

優れた特色や資質をベースに世界に開かれた意識で進める県づくり
長野県らしさを生かしながら、世界に開かれた意識で進める視点
県民の総合力で進める県づくり
今ある資源や限られた財源を有効に活用しながら、県民の知恵と力を結集して県づくりを進める視点

第6編 各地域別の特性と発展方向

(各地域の個性や特性を生かした発展方向)

佐久地域	木曾地域
上小地域	松本地域
諏訪地域	大北地域
上伊那地域	長野地域
飯伊地域	北信地域

第7編 計画推進のための県の取組

(計画の着実な推進のための、県政運営の基本的姿勢・態度)

- 県民との協働と開かれた県政
- 市町村が主役の分権改革
- 行財政改革の推進
- 県有施設の適切な維持管理
- 政策評価による計画の推進

これからの長野県づくりの方向を踏まえ、県として取り組むべき主要な施策を5つの柱に整理・体系化し、総合的に推進します。

基本目標	【めざす姿】・施策の柱	主要施策
“活力と安心” 人・暮らし・自然が輝く信州	【豊かな自然と共に生きる長野県】 をめざして	1-01 参加と連携で取り組む地球温暖化対策の推進 1-02 未来へつなぐ森林づくり 1-03 良好な水・大気環境の保全 1-04 豊かな自然環境の保全 1-05 資源循環型社会の形成 1-06 環境保全活動の推進 1-07 美しく魅力的な景観づくり 1-08 農山村における多面的機能の維持
	1 自然と人が共生する豊かな環境づくり	
	【力強い産業が支える活力あふれる長野県】をめざして	2-01 世界へ飛躍するものづくり産業の構築 2-02 観光立県「長野」の再興 2-03 地域が輝く元気な農業・農村の構築 2-04 持続可能な林業・木材産業の振興 2-05 地域に根ざした建設産業の振興 2-06 活力ある商業・サービス業の振興 2-07 長野県のブランド創出促進と発信力向上 2-08 雇用の確保と安心して働くことのできる労働環境づくり
	2 地域を支える力強い産業づくり	
	【安全・安心な暮らしをつくる長野県】をめざして	3-01 健康長寿県の確立 3-02 安心で質の高い医療の確保 3-03 安心して子どもを産み育てられる環境づくり 3-04 高齢者がいきいきと生活できる社会づくり 3-05 障害者が自立して生活できる社会づくり 3-06 地域の支え合いによる福祉の推進 3-07 誰もが安心できる日常生活支援の充実 3-08 災害に強い県土づくり 3-09 地域防災体制の強化 3-10 犯罪のない社会づくり 3-11 交通安全対策の推進 3-12 消費生活の安定と向上 3-13 食品・医薬品等の安全確保
3 いきいき暮らせる安全・安心な社会づくり		
【未来を切り拓く人を育む長野県】をめざして	4-01 確かな学力と豊かな人間性・社会性を育む学校教育の充実 4-02 生涯を通じた学びや育ちの環境づくり 4-03 生活を彩る文化芸術の振興 4-04 豊かなスポーツライフの実現	
4 明日を担い未来を拓く人づくり		
【市町村が主役の人が輝き地域が輝く長野県】をめざして	5-01 市町村が主役の地域経営の確立 5-02 ボランティア・NPOが活躍できる環境づくり 5-03 人権が尊重される社会づくり 5-04 男女共同参画社会づくり 5-05 国際性あふれる社会づくり 5-06 元気な農山村づくり 5-07 快適で暮らしやすいまちづくり 5-08 高速交通ネットワークの整備 5-09 道路ネットワークの整備 5-10 公共交通ネットワークの確保 5-11 高度情報通信ネットワーク社会の推進	
5 交流が広がり活力あふれる地域づくり		

基本目標

“活力と安心” 人・暮らし・自然が輝く信州

豊かな自然と
共に生きる
長野県

力強い産業が
支える活力
あふれる長野県

めざす姿

安全・安心な
暮らしをつくる
長野県

未来を切り
拓く人を育む
長野県

市町村が主役の
人が輝き地域が
輝く長野県

基本的視点

- 優れた特色や資質をベースに世界に開かれた意識で進める県づくり
- 県民の総合力で進める県づくり

挑戦プロジェクト

(7テーマ)

地球温暖化
対策先進県
への挑戦

一人当たり
所得レベル
全国への挑
戦

健康長寿
NO.1 確立
への挑戦

出産・子育て
にやさしい県
への挑戦

次世代を担
う人材育成
の挑戦

市町村が主
役の元気が
あふれる挑
戦

災害による
安全な社会
づくりへの挑
戦

将来を見据えた中・長期的な視
点から魅力的な長野県を築いて
いくため、積極的に挑戦していく
べき分野横断的な7つのテーマ

施策の柱

主要施策(44施策)

自然と人が共生する豊かな環境づくり
(8施策)

地域を支える力強い産業づくり
(8施策)

いきいき暮らせる安全・安心な社会づくり
(13施策)

明日を担い未来を拓く人づくり
(4施策)

交流が広がり活力あふれる地域づくり
(11施策)

各地域別の特性と発展方向

計画推進のための県の取組

- 県民との協働と開かれた県政
- 市町村が主役の分権改革
- 行財政改革の推進
- 県有施設の適切な維持管理
- 政策評価による計画の推進

参加と連携で取り組む地球温暖化対策の推進

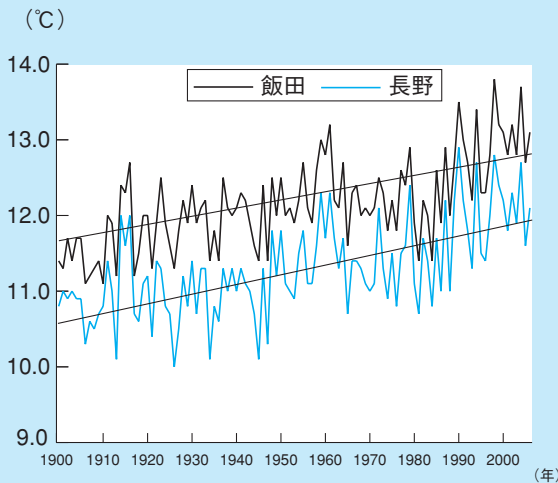
施策のねらい

地球温暖化を防止するため、啓発や県民運動の推進、エネルギーの効率的利用の推進など、県民、事業者、行政が連携して温室効果ガスの排出削減に取り組みます。

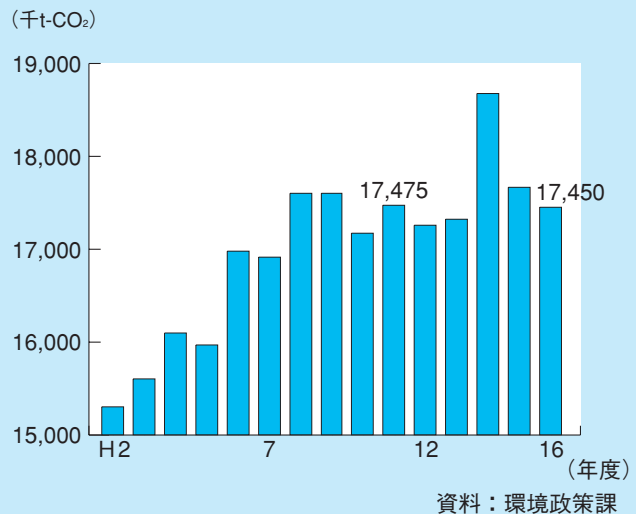
現状と課題

- 二酸化炭素をはじめとする温室効果ガス*の増加による地球温暖化の問題は、すべての生物の生存基盤に影響を与えかねない喫緊の課題となっています。
- 我が国では、温室効果ガスの総排出量を平成20年度（2008年度）から平成24年度（2012年度）の間に平成2年度（1990年度）に比べて6%削減することを目標にしていますが、平成16年度（2004年度）時点では、7.6%の伸びとなっています。また、県内の温室効果ガス総排出量は平成16年度現在、平成2年度に比べ14.0%増加しており、全国よりも高い伸びとなっています。
- 長野県地球温暖化対策条例に基づく地球温暖化防止のための取組を着実に推進し、温室効果ガス排出量の削減に向けて、県民、事業者、行政が連携して取り組む必要があります。

年平均気温の推移（長野市・飯田市）



長野県の温室効果ガス総排出量の推移



施策の展開

■家庭における温暖化対策の推進（☞ p.148）

近年、温室効果ガス排出量の増加が著しい家庭部門からの排出削減に向けて、地球温暖化に関する知識や温室効果ガス排出量削減のための取組についての啓発を推進し、環境に配慮したライフスタイルへの転換を促進します。

- 温暖化防止の啓発・県民運動の推進
- エネルギーの効率的利用の推進

■自動車からの排出削減対策の推進（☞ p.148）

公共交通機関の利用によるマイカー利用の縮減や、エコドライブ*の推進、低公害車の導入促進などにより、自動車からの温室効果ガスの排出を削減します。

- 交通対策の推進
- エコドライブの推進

■環境負荷の少ない産業の構築 (☞ p.148)

ISO14001*やエコアクション21*などの環境マネジメントシステムの普及促進や中小企業の温暖化対策の支援を行い、環境負荷の少ない産業の構築を推進します。

●企業の温暖化対策の推進

■県による温暖化対策の率先実行 (☞ p.149)

県の業務における再生可能エネルギー*の利用や省資源・省エネルギーの取組を実行します。

●再生可能エネルギーの利用 ●エネルギー消費量の削減

■森林整備による二酸化炭素吸収源対策の推進 (☞ p.149)

計画的な間伐などを実施し、二酸化炭素の吸収源としての健全な森林を育成するとともに、適切な森林整備につながる木材の有効利用を促進します。

●森林整備の推進 ●信州の木利用促進

達成目標

指標種別	指標名	5年前 (平成14年度)	現状	目標 (平成24年度)	備考
県民	県内の温室効果ガス総排出量	17,475 千t-CO ₂ (H11年度)	17,450 千t-CO ₂ (H16年度)	14,383 千t-CO ₂	県内の温室効果ガス排出量－ 県内の森林吸収量 [H2(1990)年度比△6%を目標に設定]
県民	環境マネジメントシステムの認証登録件数	131件	542件 (H18年度)	750件	県内事業所の「ISO14001」・「エコアクション21」の認証・登録件数の合計 [これまでの登録件数の動向をもとに設定]
県活動	県の業務における温室効果ガス排出量	—	88,373 t-CO ₂ (H16年度)	79,536 t-CO ₂ (H22年度)	[H16年度比△10%以上を目標に設定] ※H23年度以降の目標値は、次期地球温暖化防止「長野県職員率先実行計画」の策定に合わせて検討予定
県民	新築住宅の次世代省エネ基準達成率	—	20% (H18年度)	50%	新築住宅に占める次世代省エネ基準達成住宅(「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に基づく国の基準による。)の割合 [国の住生活基本計画を参考に設定]

【用語解説】

- *温室効果ガス：二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素など、大気中において地表から放射された赤外線の一部を吸収することにより温室効果をもたらす気体の総称のこと。
- *エコドライブ：急発進・急加速や不要なアイドリングを行わないなど、環境負荷の軽減に配慮して自動車を使用すること。
- *ISO14001：国際標準化機構（ISO）が発行した、環境マネジメントシステム（組織（事業）活動に伴う環境への影響を継続的に改善していく仕組み）に関する国際規格のこと。
- *エコアクション21：環境省が策定した中小企業・学校・公共機関向けの環境マネジメントシステムのこと。
- *再生可能エネルギー：太陽光、太陽熱、風力、地熱、バイオマスなど、通常、エネルギー源枯渇の心配がないエネルギーのこと。

一人当たり県民所得全国レベルへの挑戦

挑戦目標

低迷する長野県経済の再生を図るため、力強い産業の構築に取り組み、一人当たりの県民所得全国レベル（国民所得の水準）の実現をめざします。

<現状>

●一人当たりの県民所得*（国民所得）

	平成12年度（ピーク時）	平成16年度	将来
長野県の一人当たり県民所得	308万3千円 <全国第10位>	273万3千円 <全国第20位>	一人当たり県民所得を全国レベル（国民所得の水準）へ
（国民所得との差）	（+15万4千円）	（△9万3千円）	
（一人当たり国民所得）	（292万9千円）	（282万6千円）	

このテーマのねらい

長野県の一人当たり県民所得は、平成12年度（2000年度）は一人当たり国民所得*を上回っていましたが、平成14年度（2002年度）以降は下回り続け、その差は拡大する傾向にあることから、製造業、観光産業、農林業をはじめ、県民の生活の糧としての産業全体にわたる活力の底上げと低迷する経済の再生を図ることが喫緊の課題となっています。

このため、産学官の連携や民間活力はもとより、技術力のある人材や豊富な地域資源など本県の持つ潜在力を生かした取組により、豊かさを実感できる地域経済の構築をめざします。

県が取り組む主な施策

産業全体の活性化

- 長野県産業活性化推進本部において、県関係部局が連携して産業活性化に必要な施策に取り組みます。

ものづくり産業

- 長野県の強みである精密加工関連企業・技術の集積をベースにして、産学官の協働によって新たなナノテクノロジー*・材料の高度活用に挑戦し、国際的に優位なクラスター*形成をめざします。
- 県内の優れた地域資源等を活用し、市場ニーズに対応した製品開発を支援するため、デザインや感性価値*向上を推進するアドバイス事業、人材育成事業、共同研究開発事業などを業界、大学等と連携して実施します。
- 県外企業の誘致活動、県内企業の立地情報の提供などを行い、企業誘致を推進します。
- 産学官が連携し、食品の機能性の研究・開発などを促進し、食品産業の収益性向上を図ります。
- 中小企業振興センターのマーケティング支援機能を拡充し、中小企業のマーケティング力の抜本的強化とマーケティング活動の自立化をめざします。

観光産業

- 食の魅力の向上を図るため、飲食店・宿泊施設が地域食材や特色ある料理を提供する取組を支援するとともに、それらを提供する飲食店等の情報を発信します。
- 美しい景観の形成・継承を推進し、「環境と健康」をはじめ、本県の特徴を生かした自然と人にやさしい旅行商品の開発を推進します。
- 海外の旅行業者や旅行関連マスコミ関係者に対し、国・地域の特性に応じた戦略的な誘客活動を推進するとともに、外国人旅行者が県内の滞在を十分満喫でき、観光地の正確な情報を入手でき

る環境づくりを進めます。

- 観光産業の再生のため、温泉地やスキー場地区をはじめとする観光地の再生プラン策定と、再生プランに基づいた取組を行う地域を支援します。

■農業

- 就農相談や農業大学校での基礎的な研修とともに、里親農業者による実践的な研修や農地・住宅の確保などの支援により、新規就農者の確保・育成を図ります。
- オリジナル性の高い品目・品種や新たな技術の導入、産地の構造改革を促す品目への転換などの取組を支援し、市場競争に打ち勝てる産地育成を進めます。
- 観光・食品産業などとの産業間連携や、農業者自らが生産から加工・販売までを行う経営の多角化により、収益性が高く、新たな需要の拡大が期待できる農業・農村ビジネスを推進し、付加価値の高い農業経営の確立を図ります。

■林業・木材産業

- 間伐*団地の形成と効率的な搬出システムから、県産材の加工・流通体制の構築に至るまでの、流域別の林業の再生に向けた取組を支援します。
- 県産材を活用した住宅の普及を促進するとともに、県内をはじめ、首都圏へも県産材の利用拡大に向けた広報活動を行います。
- きのこ・山菜など山村地域の多様な資源の商品化、高付加価値化を進めます。

■商業・サービス業

- 中心市街地の活性化のための、商工団体等が行う取組を支援します。

■長野県のブランド創出促進と発信力向上

- 長野県の魅力を効果的に情報発信するイメージアップ戦略を推進し、県全体のブランド発信力の向上を図ります。

■雇用の促進と働きやすい労働環境づくり

- ハローワークと連携し、若年者、中高年齢者、障害者雇用を促進するとともに、結婚・出産などを契機に離職した女性の再就職の支援に努めます。
- 仕事と家庭等のバランスが取れた生活を送れるよう、育児・介護休業法等の周知を図るとともに、労働時間短縮をはじめとするゆとりある労働環境づくりを推進します。
- メンタルヘルス対策が進んでいない企業における労働者の心身の負担を軽減するため、心の健康の保持増進を検討する企業の取組を促進します。

【用語解説】

- *一人当たり県民所得：県民所得は、生産活動に参加した県民（個人、企業等）にその対価として分配される所得。一人当たり県民所得は、県民所得を本県の総人口で除したもの。県内の経済活動の水準を表す指標の一つ
- *一人当たり国民所得：国民所得は、生産活動に参加した国民（個人、企業等）にその対価として分配される所得。一人当たり国民所得は、国民所得を全国の総人口で除したもの。
- *ナノテクノロジー：1mmの百万分の1の領域において制御する技術
- *クラスター：本来「ぶどうの房」を意味するが、経済用語としては、「特定分野における関連企業、サービス提供者、関連機関（大学、業界団体など）などが地理的に集中し、競争しつつ同時に協力している状態」を指す。
- *感性価値：「性能、信頼性、価格」という従来のものづくりの価値に加え、生活者の感性に働きかけ共感・感動を得ることで生まれる第四の価値。商品・製品などの価値を高めるとして注目されている重要な要素
- *間伐：育成段階にある森林において樹木の混み具合に応じて育成する樹木の一部を伐採（間引き）し、残存木の成長を促進する作業のこと。